

**第3回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会  
部会長副部会長会議議事録**

- ◆ 開催日時 平成27年12月22日(火) 18:30～ 19:30
- ◆ 開催場所 第2委員会室
- ◆ 出席委員  
委員長 仲川 弘誓  
副委員長 山田 正幸  
副委員長 合田 美津子  
ぬくもり部会部会長 雨洗 康江  
ぬくもり部会副部会長 田渕 純勝  
防災・環境部会副部会長 川島 芳治  
都市調和部会部会長 長部 正之  
まちづくり部会部会長 中原 義勝  
まちづくり部会副部会長 渡部 雅子
- ◆ 欠席委員  
防災・環境部会部会長 江口 武利  
産業躍動部会部会長 高橋 弘康  
産業躍動部会副部会長 小川 賢  
都市調和部会副部会長 西尾 拓也  
育み部会部会長 安宅 錦也  
育み部会副部会長 川村 正勝
- 事務局 堀井次長、松田次長、沼田企画調整グループ総括主幹、  
梅田市民協働グループ総括主幹、菊地主査
- ◆ 議題 第3期基本計画の議会への提案について  
市民自治推進委員会に係る意見交換について

◎委員長

おばんでございます。

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

基本計画の議会対応及び市民自治推進委員会への移行についてお話していただきます。

基本計画を作るだけでなく、来年以降どのように形にしていくのかが大切でありますので、自治推進委員会が重要だと思います。

これから最大で9年間ほどかかわっていくことになると思いますので、10年後を見据えた部分とすぐに着手しなければならない部分など見極めていきたいと思います。

## ◎事務局

本日は議題を2件お出ししています。

まず、市民自治推進委員会についてですが、中身についてはお配りした資料をご自宅でじっくり読んでいただきたいと思います。基本的には、これまでお話しした内容が整理されています。

ここで決めてほしいということではなくて、あくまでもこれから開催する部会の中で協議していただきたいと思います。

職員についても組織の名称は変わりますが、6部会に対応した職員の組織が継続します。

前の市民自治推進委員会でなかなかうまくいかなかったことを踏まえて構築しました。

委員会については、委嘱をせずボランティアで行きたいと思われ、総会なども開かない組織で行きたいと思われ。

この組織は、具体的にどうしていけばいいのか、といったところを重視したいと思われ。

役所は役所でできること、民間は民間でできることを協議していきたいと思われ、「役所にやってほしい」でも「民間に押し付ける」ものでもありません。

委員については今回の41人の方に移行してほしいと思われ、本人、団体に推薦書、同意書をいただきたいと思います。

また、41人以外の団体の方とお話しする機会は必要だと思われ、委員にならないと駄目と言うことではなくて、お話を聞く場を設けることで対応します、この41人の閉鎖したなかで進めるものではありません。

この中で事業についてお話しすることが、一つの事務事業評価なのかなと思われ。

新しい自治推進委員会はこういう手法でどうでしょうと各部会にお話しさせていただいて協議していきたいと思われ。

## ◎委員

基本的な考え方は問題ないと思われ。

従来の基本条例の設置目的の中で委員の選考についてはどのように位置付けられていたのか。

## ◎事務局

特に取り決めはありません。

今回の組織も最初の段階では公募をしない予定でいます。

前自治推進委員会からの提言にもあるのですが、新たな自治推進委員会が成

熟してから公募をしたいと思います。

◎委員

前回の轍を踏まないということでいいのかなと思います。

◎事務局

前委員会の委員長、副委員長にも相談し、ご理解いただいております。

◎委員

提言は市長への提言なのか。

◎事務局

必ずしも物々しく市長に提言しなければならないというものではありません。  
いろいろな形で話し合いをすることが、提言であり、提案であるのかなと思います。

物によるものもあると思いますので、場合によっては提言もいいとは思いますが。

◎委員

基本計画の検証をこの場でやって市民の方にお知らせするのが望まれているのかと思います。

◎事務局

指標についても、まちづくり意識調査などで検証しますが、アンケートなどをやりながらデータをもとに意見交換してみたいと思います。

いろいろな形で市民論議する場だと思っています。

◎委員

当初の41名以外は適宜参加してもらおうこととなるのか。

◎事務局

自治推進委員会が成熟して、何をやるのか、どのように行うのかなど意思統一できた段階で委員として参加してもらおうことになると思います。

まちづくりをきっちり考えて、自分の団体などで議論してもらい行政と市民の役割分担の中でまちづくりを進めたいと思います。

### ◎委員長

1章から6章まですべてやらないとだめだと思うが、重点的にやらないとだめな考え方もある。

例えば子供たちの育成についても、ぬくもり部会でやるものもあれば、ほかの部会でやるものもある。

これから各部会で進むこととなるが、部会長・副部会長会議ですり合わせをして重点的なものを考えるべきかと思います。

### ◎事務局

総合戦略も5年間の計画期間がありますが、更新もあるのかと思います。

ただこれだけだと面白くないので、実際のまちづくりの話をしたしたいと思います。

次の議題で、第3期基本計画の現状ですが、12月議会では議決をしないで、2月の初旬に集中審議をすると聞いています。

### ◎委員長

1月28日に議会との意見交換の場を設置したいとの話がありました。

これから皆さんにご連絡がいくと思います。

### ◎副委員長

議会から市民とお話ししたい話だが安易に受けるものではないと思います。

### ◎事務局

行政側で調整するものではないことをご理解ください。

### ◎委員長

一部の議員さんに言わせると、抽象的な計画で柱が見えないと感じている。

自分はこれから作り上げていくものと感じているのだが。

### ◎副委員長

議員が知ろうとしていないだけで、連合町内会で地区懇談会をやっても出席しない。参加していればわかることだ。安易に受けることではない。

### ◎委員長

自治推進委員会を進める中で議会との関係もありますので、確認する場として出席するべきかなと思います。

### ◎事務局

特別委員会の中で我々からもいろいろお伝えしていますので、皆さんから聞いた内容と違いがないのか確認するのもかもしれません。

市民と時間をかけてやってきた計画です。

総合計画は総花だといわれることがありますが、まちづくりを進めるうえで例えば子育てだけでいいのかといえそうではない。

この検討委員会の最初の段階から作るだけでなく関わってください、だから長生きしてくださいと冗談を言って、皆さんにお伝えしていました。

### ◎副委員長

議会基本条例のことは市民のみなさんは理解していない。

明確な説明をしたほうがいい。

### ◎委員長

自治推進委員会の立ち上げが重要だと思いますので、1回目は何に主眼を置いて進めていくのかを明確にしてもらえればと思います。

### ◎事務局

自治推進委員会は団体の上立つものではなく、平場で活動をしていきたいと思えます。

### ◎委員

各部会でテーマを取り上げて進めることになるが、各部会も連携が必要になると思えます。

### ◎事務局

この自治推進委員会の立ち上げで、本当の協働のまちづくりが進むと思っています。

まずは、まちづくりは楽しく進めていくことが大切だと思います。

### ◎委員長

市民と行政が協働するのはわかるが議会はどのように関わるのか。

### ◎事務局

市民自治推進委員会からの声かけで、まちづくりについて話しをするというのはあってもよいのかと思えます。

◎委員長

ある程度、部会を進めていくうえで、議員さんの話しを聞いてみようかというのはいいと思います。

これからもよろしくお願いします。